

# 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書

## 住民説明会及び意見交換会

### 第2回 開催報告

#### 議事概要

対象地域：篠路連合町内会の地域

開催日時：平成30年9月21日（金）19：00～20：30

開催場所：篠路コミュニティセンター

（札幌市北区篠路3条8丁目11-1）

参加者数：市民22名（地域の方12名、地域以外の方10名）、報道関係者1名

札幌市（事務局）4名、北海道（オブザーバー）1名、

道銀地域総合研究所（事務局）4名

計32名



#### 1. 開会挨拶

（札幌市より挨拶）

#### 2. 出席者の紹介

（事務局紹介）

#### 3. 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の説明

（札幌市より説明）

#### 4. 意見交換

<地域の方より>

○ご意見

##### 【利活用の検討の進め方について】

- ・これからは道内の人口が減り、特に地方は過疎化になるので、この点を踏まえて空港のあり方を考えてほしい。
- ・丘珠空港は防災拠点なので、まずは、自衛隊や医療関係者と利用について検討し、また、道内空港の民間委託の業者とも協議した上で、我々住民に問いかけた方が良い。
- ・良い方向に改善してもらえるのであれば、さらに推進したほうが、道民のためになり札幌市のためにもなる。

**【空港周辺の環境について】**

- ・長年この地域に住んでおり、自宅周辺で航空機が往来するがうるさいと感じたことは無く、近所の方からも騒音の苦情を聞いたことは無い。

○ご質問

**【利活用の検討の進め方について】**

- ・利活用の方向性が見えたら、札幌市民にパブリックコメントを行うべきではないか。  
(回答) 方針を決定するに当たっては、パブリックコメントを含め、様々な手法で意見を集約し、検討していく必要があると考えている。

**【利活用策について】**

- ・滑走路延長が前提の検討なのか。現状のまま周辺環境を整え、航空機の機種を変更することも検討すべきではないか。  
(回答) あくまで滑走路延長は利活用策の案の1つであって、他に20以上の案があり、それは延長せずとも可能なものが大半である。現状のままで良いという意見も含めながら考えていきたい。

**【空港周辺の環境について】**

- ・百合が原公園付近では、飛行機がとても低く飛行しており、仮に2,000mに延長し、北側に300m延びるとしたら、百合が原公園小学校も同様の状況になり、騒音がかなり大きくなるのではないかと心配している。  
(回答) 航路や高さは法律で安全基準が決まっており、仮に延長する場合、影響を考慮して検討していく。
- ・丘珠空港に対する周辺住民からの苦情はあるのか。  
(回答) 札幌市空港担当課で関係しているのは民間航空機であるが、苦情はあまり受けていない。ただし、航空ページェントの際などは、自衛隊の方に苦情がいつていると聞いている。

<地域以外の方より>

○ご意見

**【空港周辺の環境について】**

- ・今でも朝と夜の発着はとてうるさいと感じており、発着時間を1時間延長すると、さらに生活環境が悪化する。

## ○ご質問

### 【利活用の検討の進め方について】

- ・過去に反対意見があつて延長がなくなったが、その地元案は反故にされてしまうのか。多数決で決めるのではなく、航路の真下の住民などの意見は広く聞いて、しっかり考えていただきたい。

(回答) 地元の意見は、非常に大切なものと考えている。まず地元の方との合意を得た上で、今後も進めなければならない。説明会や意見交換を行い、要望書等も含め取り入れるようにしていく。

### 【利活用策について】

- ・延長ははっきり言って反対だ。自宅の真上を飛行機が通る。医療ジェットの必要性を言われているが、昼夜を問わず飛ぶのではないかと不安だ。

(回答) 医療ジェットは現在、定期搬送という運用で日時が指定されており、現状では仮に滑走路が延伸されても、緊急の対応はない。

- ・百合が原小学校の近くを飛行機が低空で飛んでいて、滑走路延長によってさらに小学校に近付けば、騒音など大変になる。先程、危険があれば札幌市として飛行ルートを変更するとのことだったがそれは可能なのか。

(回答) ルートを変更するという事ではなく、騒音の問題や危険性などがあるならば、法律上回避することをきちんと考え、延長する位置を検討していく。

- ・滑走路を延長したら自衛隊はオスプレイを飛ばすと思うが、どう対応するのか。

(回答) オスプレイはヘリコプターであり、直接滑走路延長とは関係しないが、例えば騒音が、環境基準を超える場合には、札幌市として運用について要請し、市民の安全を守るための行動をしなければならないと考えている。

- ・札幌市の地震防災マップによると、丘珠空港の液状化の危険度は最も高い地域であり、この検討の中で、液状化対策は検討しているのか。していないのであれば、費用の試算は増えるのではないか。

(回答) 液状化の可能性が高い場所ということは認識しているが、液状化対策の検討はしておらず費用には含まれていない。延長を本格的に進めるといふ議論になれば、さらに詳しく調査しなければならないと考えている。

- ・整備するかどうか決めてから費用を算出するのではなく、費用を調査した上で整備を検討すべきではないか。

(回答) まず、可能性や効果等を考えた上で、一旦可能な範囲で案として費用を算出している。もし延長を進める事になれば、その前に実際の経費を検討しなければならないと考えている。

#### 【空港周辺の環境について】

- ・騒音レベルの基準というのは、一体何をもって基準としているのか疑問だ。  
(回答) 環境省の告示に基づくLdenという環境基準があり、居住区域によってⅠ類かⅡ類に分類され、Ⅰ類で57dB以下、Ⅱ類で62dB以下となっている。毎年騒音調査を実施し、環境基準は守られていると判断している。調査結果は回覧板等で周知している。
- ・今回の震災の時に再三ヘリコプターが飛んでおり、騒音が気になった。子供の成長過程で睡眠は大切であることを踏まえて、滑走路延伸や就航時間を考えてほしい。  
(回答) 騒音に関し札幌市としてできることは、環境基準の範囲に収まっているか毎年調査し確認することである。環境基準の範囲内だとしても実際にはうるさいという事について、緊急時はやむを得ないにしても、平常時の騒音への配慮については市として自衛隊等をお願いしていく。就航時間については環境基準を越えない範囲での民間航空機の便数を考えていく。
- ・新千歳空港で行っているように航路の真下の住民に対して騒音対策はされないのか。  
(回答) 新千歳空港は騒音に関する法律が施行された当時、環境基準を超えており、さらに空港の拡張により騒音が問題となったため補償している経緯がある。丘珠空港については、環境基準の範囲内であり、現状で補償は考えていない。

#### 【本説明会の運営について】

- ・太平百合が原連合町内会の説明会は、震災のため延期となったが、新たな開催日時の予定を教えてください。  
(回答) 調整中であり、11月には開催出来る予定。確定次第、回覧板等で周知したい。

#### 5. 閉会

以上